

(世界文化遺産) 軍艦島をはかる<全3回> 講演会に参加して

緑土会 会報・ホームページ部会長 黒沼良彰

世界文化遺産 軍艦島（日本の産業革命を支えた島）セミナーに大変多くの方が参加されました。



濱本卓司 東京都市・学名誉教授より講演





中村陽・元 NP0 法・軍艦島を世界遺産にする会理事（S38 年建築卒）から幼少期における軍艦島の思い出から世界遺産としての役割など説明。



30号棟架構図1:150
(20号棟竣工後改築工事監理所
 施設関係資料による)

柱断面と主筋	400 × 400	6 × 13mm
	400 × 400	4 × 19mm
	350 × 30	4 × 22mm
梁断面と主筋	300 × 420	6 × 16mm
	300 × 500	5 × 16mm
	300 × 520	6 × 16mm
建築面積	572㎡	
延べ面積	4180㎡	
軒高	17.400m	
階高	2.290~2.450m	
基礎	岩盤定着	



はじめに

軍艦島 長崎港の沖・東シナ海に浮かぶ絶海の孤島を人々は「ぐんかんじま」と呼んでいた。
 正式名は端島(はしま)

20世紀「黒ダイヤ」と呼ばれる石炭を算出し、日本の近代化に大きな役割を果たした島。

昭和49年炭鉱閉山後無人島になって半世紀、私は廃墟となった島の保存活動をしている。昭和22年に樺太から引揚げてこの島で小学3年生から中学1年生までの間、暮らしていた。